

個人投資家さま向け 会社説明会

2025年3月12日



東証プライム市場:8370



01

本日のポイント

02

紀陽銀行について

会社概要

決算概要

03

企業価値向上に向けて

経営基盤

PBR向上に向けた取り組み

サステナビリティへの取り組み

株価推移・株主還元



地方銀行トップクラスの収益性

2024年3月期
連結ROE **6.54** %



* 順位は、公表資料より当行が独自試算

-01-

本日の
ポイント

安定性と成長性を 兼ね備えた経営基盤

和歌山県内の

メインバンクシェア **63** %^{*1}

地方銀行
2位^{*2}

事業性貸出金の **50** % 以上を

大阪エリアが占め、残高増加率は

直近4期で **30** % 超える高い成長性

*1 出所:帝国データバンク「メインバンク調査2024年」

*2 順位は、公表資料より当行が独自試算

-01-

本日の
ポイント

株主還元方針の変更

配当性向 **40** %を目安

年間配当金予想を50円から **90** 円に修正

累進的 な配当を行い、
自己株式取得は機動的に実施



会社概要

紀陽銀行・グループ会社

経営理念

沿革

店舗ネットワーク

地域の特色

決算概要

2024年3月期決算概要

貸出金

預金等

本業収益

金利上昇に伴う業績影響

紀陽銀行

(2024年9月末現在)

所在地	和歌山県和歌山市
設立	1895年5月2日(創立130年)
資本金	800億96百万円
代表者	取締役頭取 原口 裕之
従業員	2,156名(出向者を除く)
格付	JCR「A+」、R&I「A」

株式情報

証券コード	東証プライム市場：8370
株価	2,153円*
単元株式数	100株
時価総額	1,448億円*

* 2025年2月28日終値ベース

グループ会社

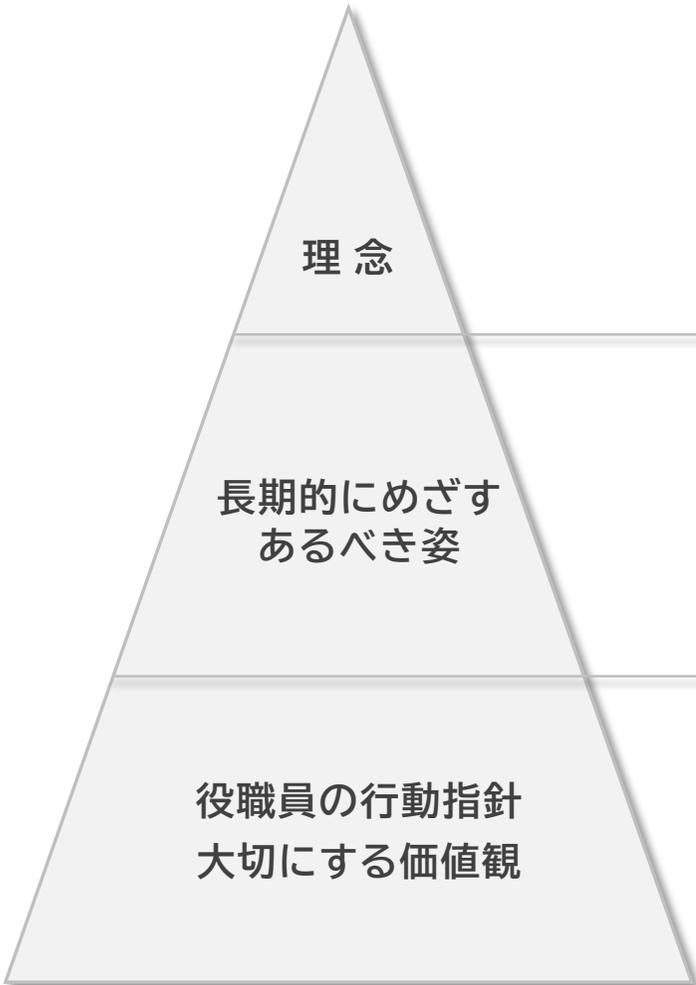
紀陽情報システム	システム開発・運用・サポート業務
紀陽キャピタルマネジメント	投資業務
紀陽リース	リース業務
阪和信用保証	信用保証業務
紀陽カード(JCB/VISA)	クレジットカード業務
紀陽カードディーシー	クレジットカード業務
紀陽ビジネスサービス	事務代行業務
紀陽パートナーズ	職業紹介業務

[シンボルマーク]

コンセプト:『顔・紀州の太陽』
デザイナー:祐泉 隆氏



経営理念



理念

経営理念

地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む
堅実経営に徹し、たくましく着実な発展をめざす

長期的にめざす あるべき姿

長期ビジョン

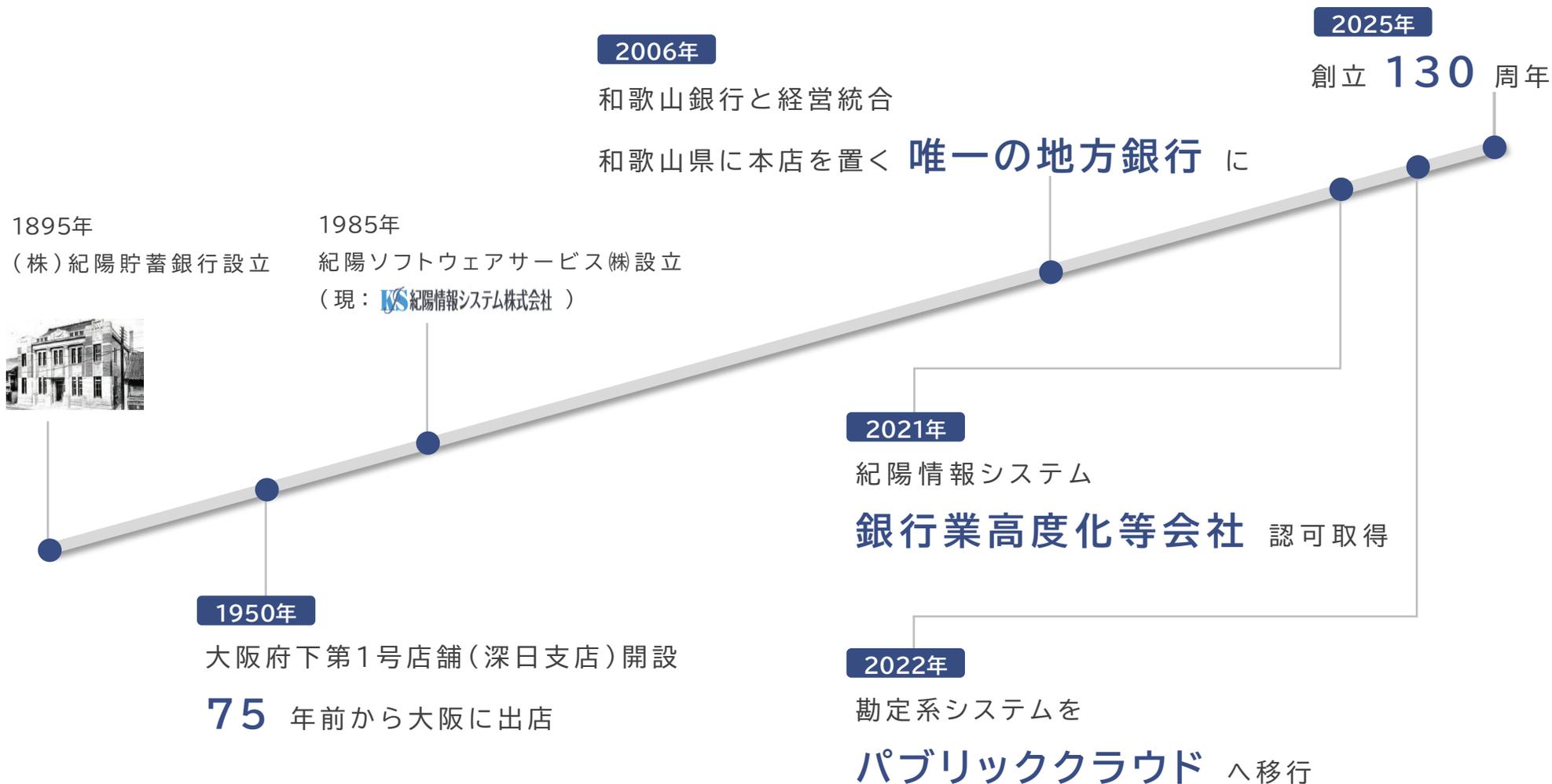
お客さまとの価値共創と企業変革への挑戦を続け、
人が未来を創造する地域金融グループとなる

役職員の行動指針 大切にする価値観

銀行をこえる銀行へ

お客さまの期待や地域の壁をこえ、銀行という枠をこえることをめざします
お客さまの期待をこえる 銀行という枠をこえる 地域の壁をこえる

沿革



店舗ネットワーク

(2024年9月末現在)

大阪府

店舗数	41	店舗
営業拠点数	36	拠点
事業性取引拠点数	21	拠点

和歌山県

店舗数	68	店舗
営業拠点数	39	拠点
事業性取引拠点数	11	拠点



紀陽大阪ビル

- 融資部大阪分室
- 法人新規開拓室
- リアルエステートファイナンス推進室
- **KIS** 紀陽情報システム株式会社

紀陽堺ビル

- ソリューション戦略部
- **紀陽リース**
The Kiyo-Lease Co., Ltd.
- **KCM** Kiyo Capital Management
KCM 紀陽キャピタルマネジメント

奈良県

店舗数	2	店舗
営業拠点数	2	拠点
事業性取引拠点数	1	拠点

東京都

店舗数	1	店舗
営業拠点数	1	拠点
事業性取引拠点数	1	拠点

地域の特徴

大阪府

人口	事業所数	総生産
876 万人 全国 3 位	37.7 万事業所 全国 2 位	39 兆円 全国 2 位

和歌山県

人口	事業所数	総生産
89 万人 全国 40 位	4.8 万事業所 全国 38 位	3 兆円 全国 38 位



- 2025年 **大阪・関西万博** 開催
- 2030年 **統合型リゾート** 開業予定
- コロナウイルスの終息に伴う **インバウンド需要** の回復

- 豊富な **観光資源**
- 温暖な気候を活かした農業
- **みかん・梅・柿** 収穫量日本一

Point

スペースポート紀伊

国内民間初ロケット発射場

スペースワン株式会社に当行より3億円出資

2024年3月期 決算概要

P/L (連結損益計算書)

経常収益 **847** 億円当期純利益 **150** 億円

2024年3月期実績

株価純資産倍率(PBR) **0.53** 倍
(上場地銀平均:0.39倍)自己資本利益率(ROE) **6.54** %
(上場地銀平均:3.8%)

B/S (貸借対照表)

預金等残高 **4.7** 兆円貸出金残高 **3.8** 兆円

2025年3月期予想

予想配当利回り*1 **4.22** %
*1 2024年12月20日基準
(上場地銀平均:3.5%)自己資本利益率(予想ROE) **6.1** %
(上場地銀平均:3.9%)

全国の地方銀行62行中 預金量:35位 貸出金量:33位

2024年3月期 決算概要

単体決算 (単位:億円)	23/3期 実績	24/3期 実績	前期比	25/3期 第3四半期 実績	進捗率	25/3期 予想
1 業務粗利益	258	428	+170	407	78%	517
2 資金利益	432	411	▲21	359	80%	448
3 役務取引等利益	82	88	+6	72	85%	84
4 その他業務利益	▲256	▲71	+185	▲24	—	▲15
5 経費(▲)	312	319	+7	251	74%	335
6 コア業務純益	217	181	▲36	188	105%	179
7 経常利益	28	183	+155	152	78%	193
8 当期純利益	25	139	+114	106	80%	132
9 顧客向けサービス業務利益	139	146	+7	123	90%	136
連結決算 (単位:億円)						
10 経常利益	50	201	+151	165	78%	211
11 親会社株主に帰属する当期純利益	39	150	+111	114	78%	145

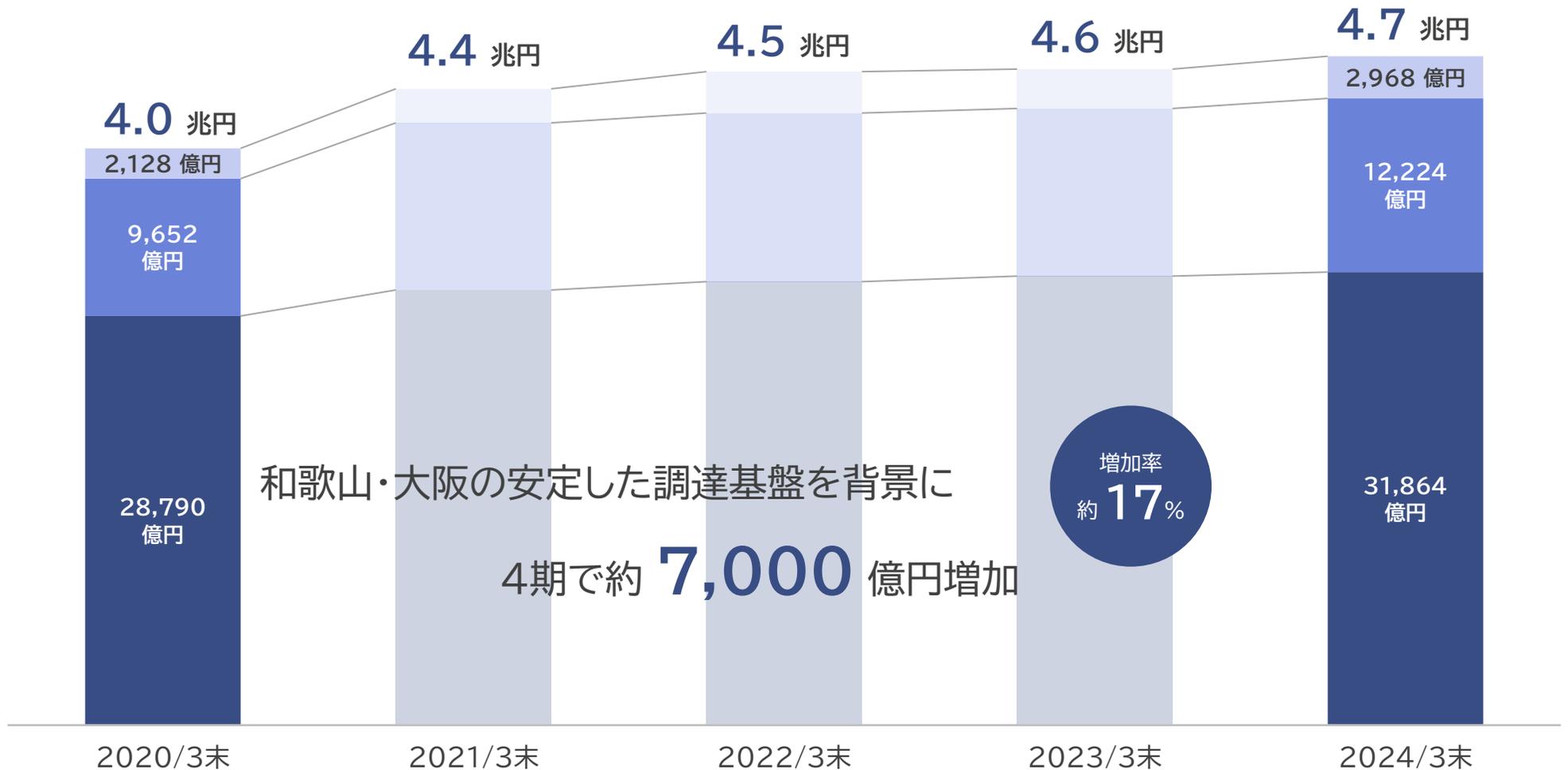
貸出金

■ 事業性貸出 ■ 消費者ローン ■ 公共貸出



預金等

■個人 ■法人 ■公共・金融



本業収益

第4次中期経営計画

第5次中期経営計画

第6次中期経営計画

本業の収益力を示す顧客向けサービス業務利益*は
マイナス金利政策下においても **100** 億円以上増加

* 顧客向けサービス業務利益 = 貸出金平残×預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費



金利上昇に伴う業績影響

円金利バランスシート

2024年9月末時点

資産部分			負債部分	
貸出金 4兆円	変動 49%	短期プライムレート 14%	預金等 4.6兆円	流動性 71%
		住宅ローン 25%		
		市場金利 10%		
	固定 51%	~1年 14%		固定性 29%
		1年~2年 4%		
		2年~3年 3%		
		その他 30%		
有価証券	0.9兆円	その他		
日銀預け金	0.8兆円			
その他				

資金利益への影響

- 2024年3月、第7次中期経営計画策定時は政策金利の引上げを考慮せず。
- 2025年1月政策金利 **0.50** %で試算した場合、第7次中期経営計画最終年度の2027年3月期では、資金利益は計画対比 **60** 億円増加の534億円程度となる見通し。

試算条件

前提	第7次中期経営計画の増加計画ベース
貸出金利息	短期プライムレート連動、住宅ローン、市場金利連動の追随率:100%
預け金等	日銀当座預け金:追随率100%
預金利息	流動性預金:追随率40% 固定性預金:追随率50%



経営基盤

価値創造プロセス

当行の強み

エリア別構成

和歌山・大阪のマーケット環境

PBR向上に向けた取り組み

PBR・ROEの推移

第7次中期経営計画

目指す経営指標

事業性分野での取り組み

リテール分野での取り組み

グループ戦略

戦略的IRの実施

サステナビリティへの取り組み

地域DXへの取り組み

インキュベーション施設の開設

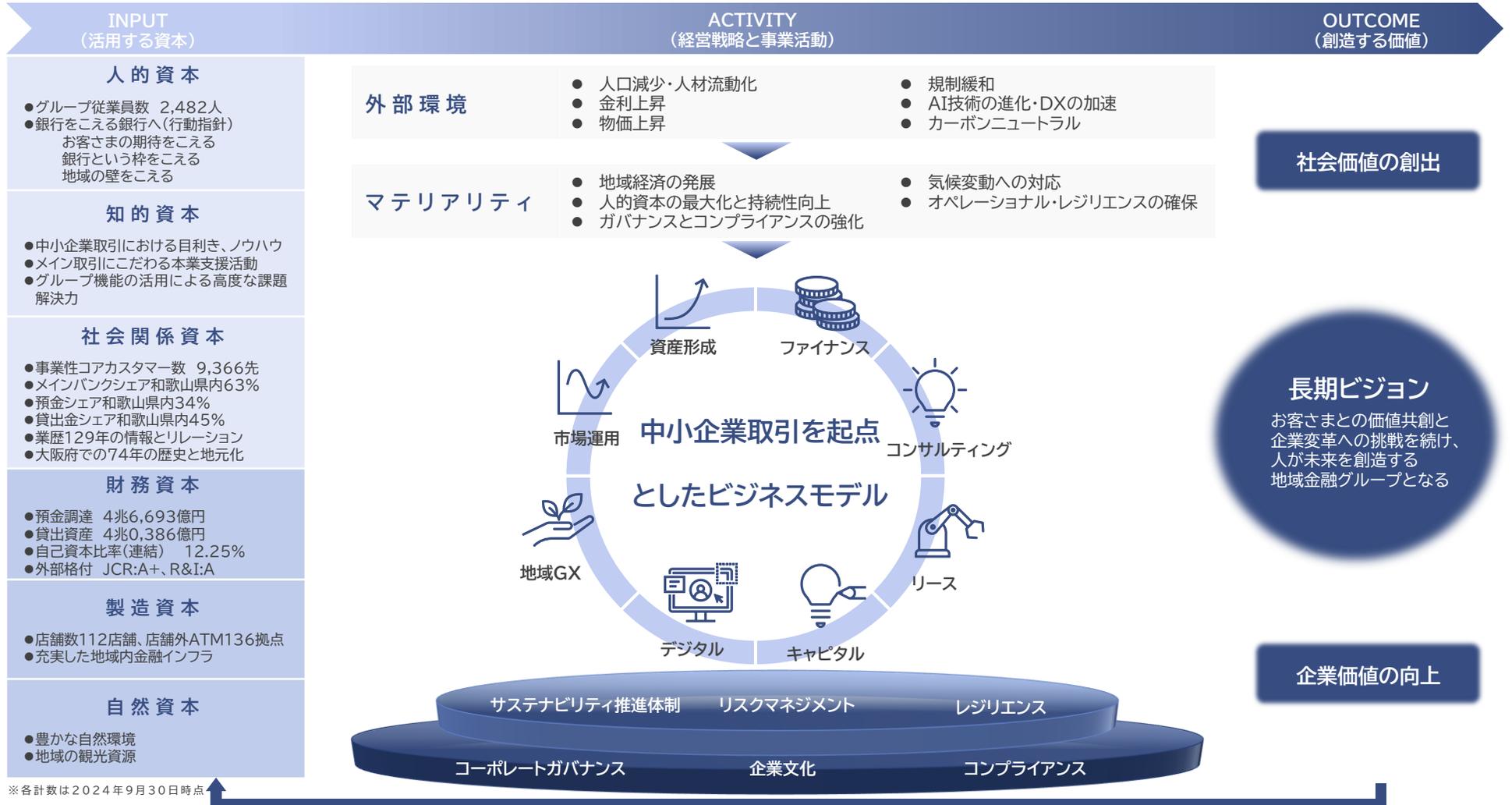
株価推移・株主還元

株価推移

株主還元方針の変更

株主還元実績・DPS(1株あたり配当金)

価値創造プロセス



当行の強み



ノウハウ

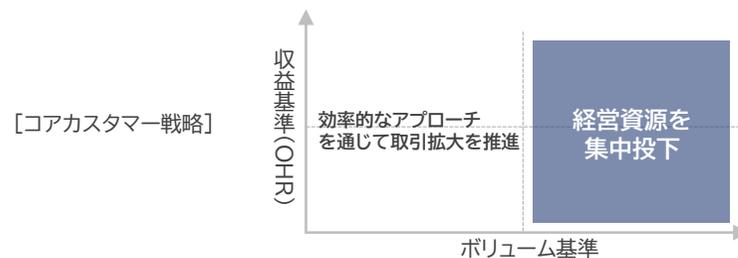
長年の歴史で培われた中小企業分野における
与信審査や本業支援を踏まえた提案力

戦略

コアカスタマー戦略 による経営資源の戦略的配賦
メイン化推進 による高付加価値型の営業活動

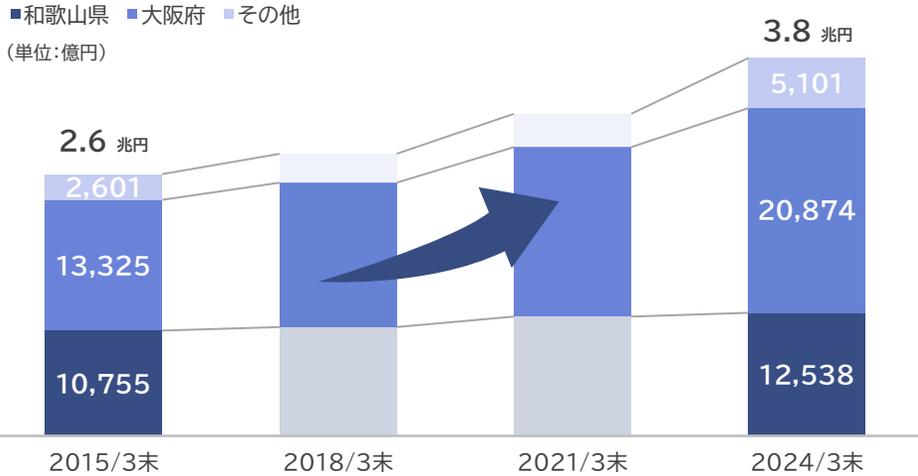
グループ
シナジー

紀陽情報システムを中心とする
グループ機能の活用 による他行との差別化

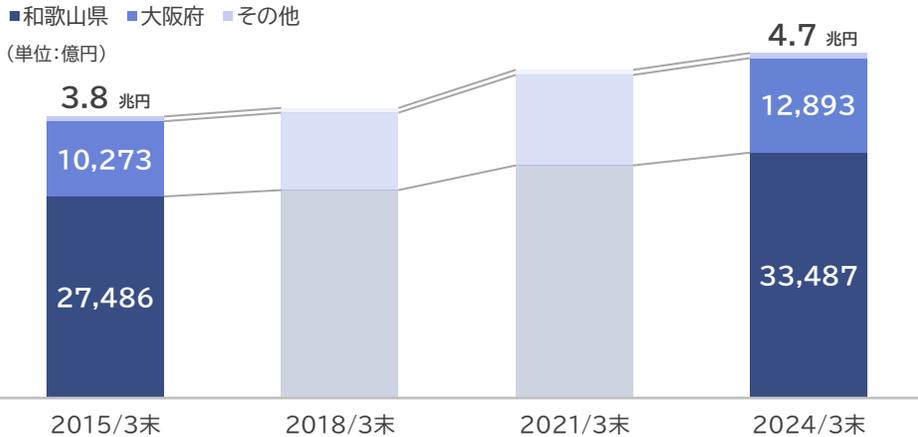


エリア別構成

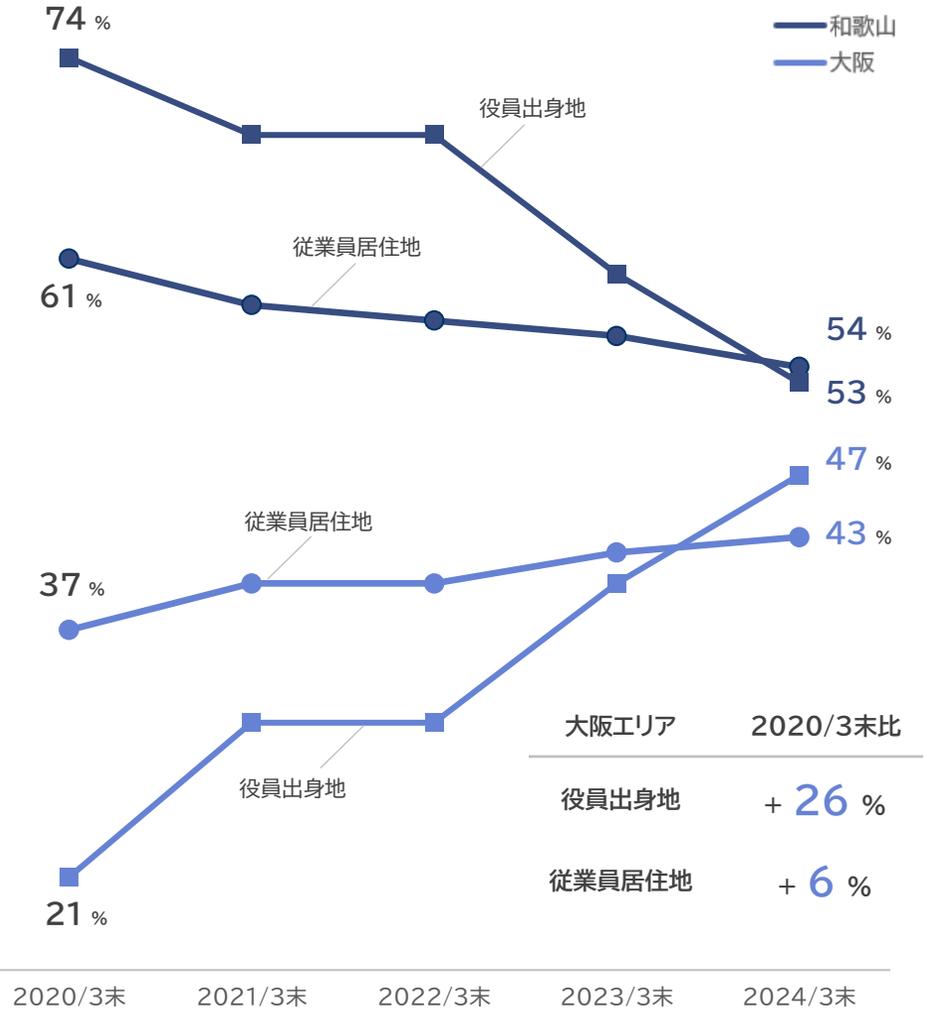
貸出金



預金



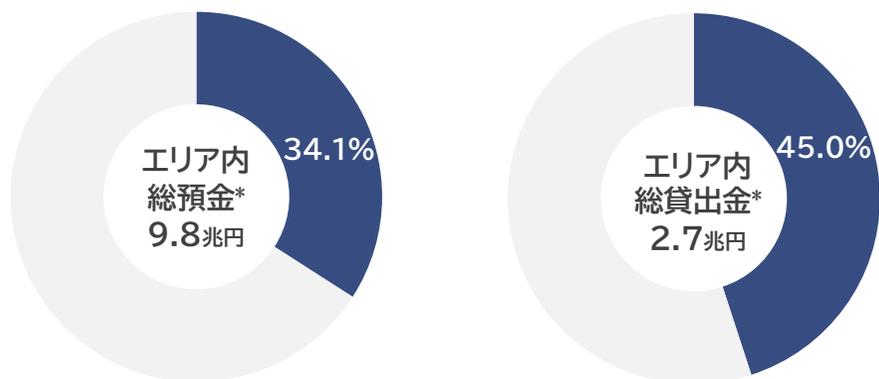
役員・従業員エリア別構成



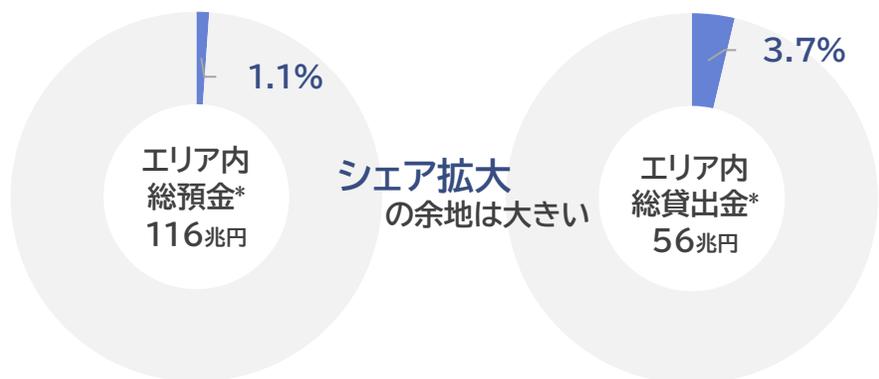
和歌山・大阪のマーケット環境

エリア内金融機関に占める当行シェア*

和歌山



大 阪



*出所:金融ジャーナル増刊号「金融マップ」2025年度版より

事業性メインバンクシェア*

和歌山

全国ランキング

1	長崎県	十八親和銀行	84%
2	和歌山県	紀陽銀行	63%
3	島根県	山陰合同銀行	62%
4	奈良県	南都銀行	60%
5	宮崎県	宮崎銀行	60%

メインバンクシェア
63%

全国 **2** 位の水準

大 阪

大 阪 府

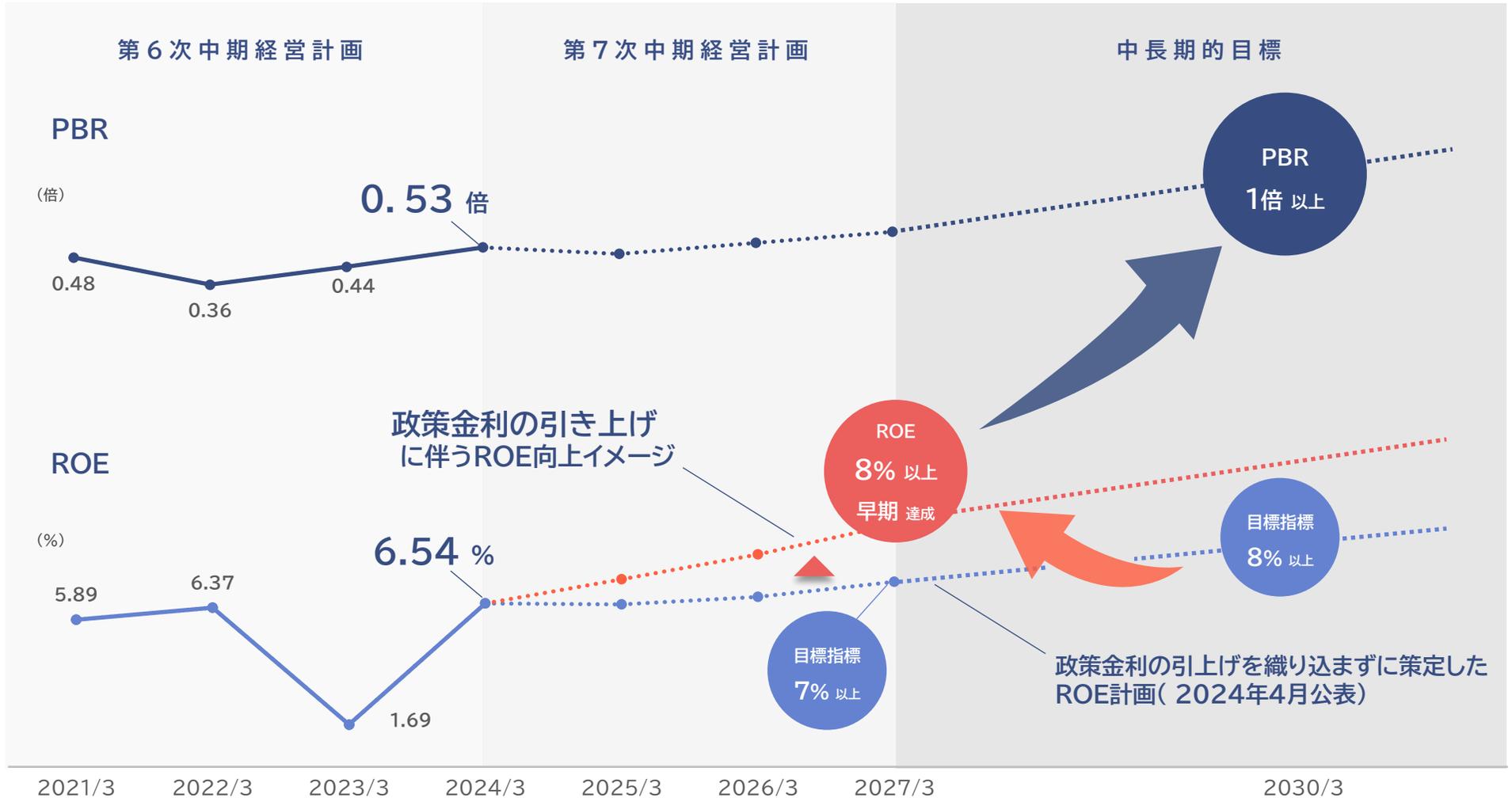
1	三井住友銀行	16.7%
2	三菱UFJ銀行	16.6%
3	りそな銀行	11.9%
4	関西みらい銀行	10.1%
5	大阪シティ信金	6.6%
6	池田泉州銀行	5.7%
7	大阪信金	5.1%
8	みずほ銀行	4.2%
9	北おおさか信金	3.9%
10	紀陽銀行	2.5%

大 阪 府 南 部

1	三井住友銀行	15.0%
2	池田泉州銀行	13.8%
3	三菱UFJ銀行	12.4%
4	りそな銀行	11.9%
5	大阪信金	11.2%
6	紀陽銀行	10.1%
7	関西みらい銀行	8.9%
8	大阪シティ信金	2.9%
9	みずほ銀行	1.8%
10	尼崎信金	1.7%

*出所:帝国データバンク「メインバンク調査2024年」より

PBR・ROEの推移



第7次中期経営計画

基本方針
コンセプト
メッセージ

地域の金融リーディンググループとしての機能発揮による地元地域との価値共創

中小企業「取引」を起点としたビジネスモデルへの変革

KX ~Kiyo transformation~ 長期ビジョンの達成・企業価値の向上に向けた企業変革への挑戦

主要戦略①: 営業戦略 営業体制の最適化

事業性顧客への営業体制最適化



コンサルティングの強化



貸出金ポートフォリオの増強



リテール営業体制



主要戦略③: デジタルバンキング戦略 地域DXの推進

デジタルバンキング



地域DXの推進



組織横断的なDX推進



主要戦略②: グループ戦略 成長分野への戦略的投資

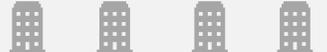
戦略系グループ会社への経営資源傾斜配賦



戦略系グループ会社



事務受託 職業紹介 保証 カード



新たな収益機会の創出



主要戦略④: サステナビリティ戦略 地域未来の創造

サステナビリティ経営の高度化



創業・スタートアップ支援



Incubation

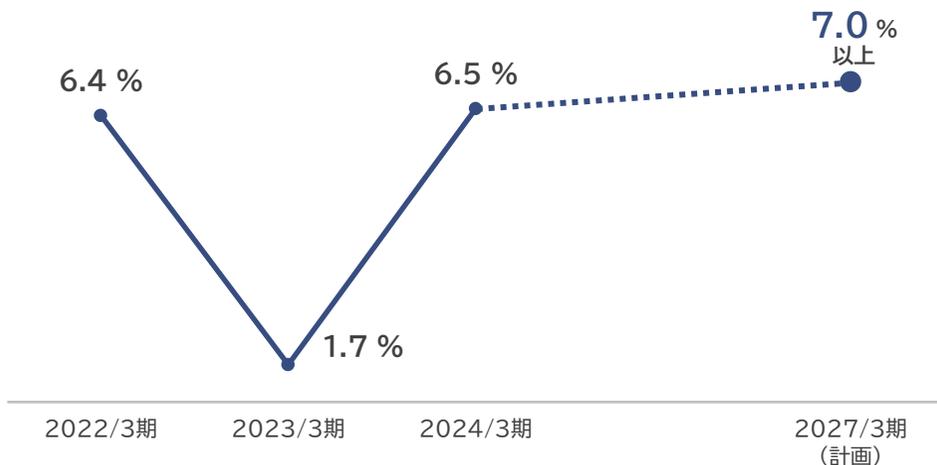
公共貸出・PFIへの取り組み



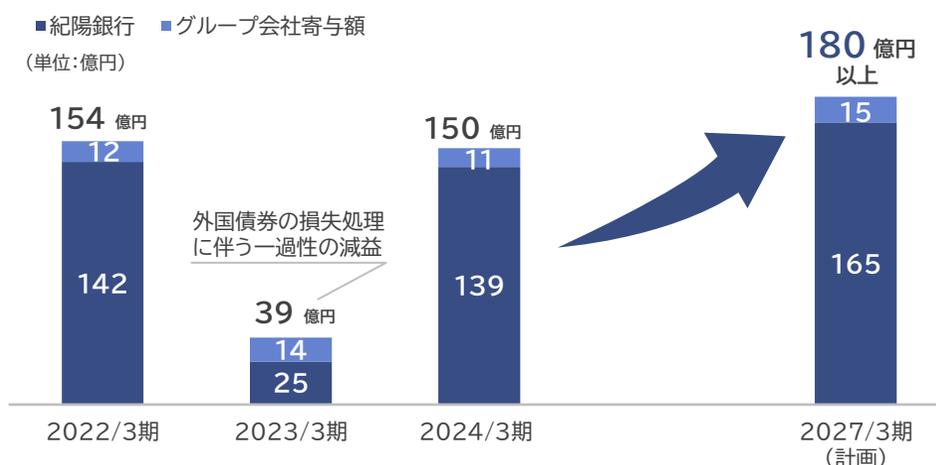
目指す経営指標

(2024年4月公表)

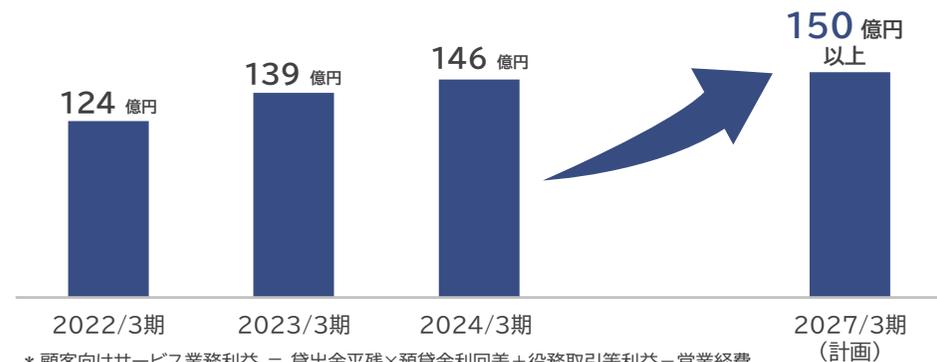
ROE < 連結 >



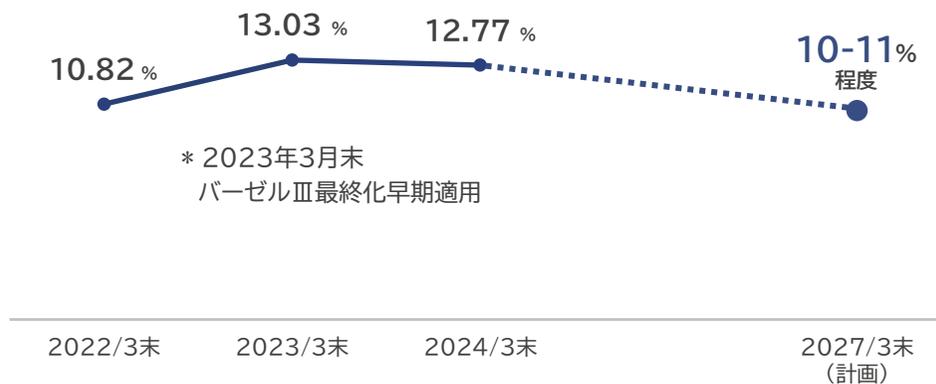
親会社株主に帰属する当期純利益 < 連結 >



顧客向けサービス業務利益 < 単体 >



自己資本比率 < 連結 >



事業性分野での取り組み

規模拡大に向けた取り組み

- 2025年3月 **九条支店** を大阪市西区に中小企業特化型店舗としてオープン
- 当行の大阪府下 **42** 拠点目として 約 **5** 年振りの新規出店
- 新規出店により店舗網の充実、大阪市内の営業体制を強化

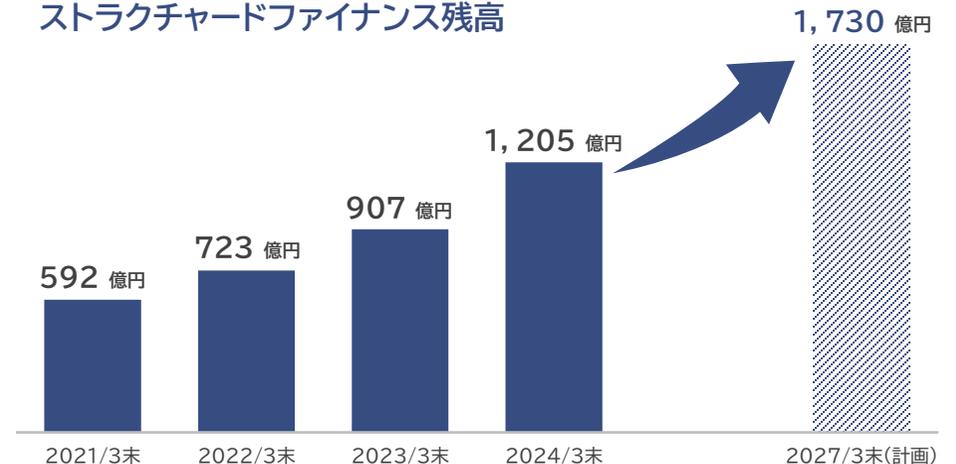


RORA向上に向けた取り組み

- 専門部署による一元管理により、良質なRORA資産の積み上げと、高度なリスク管理を実現

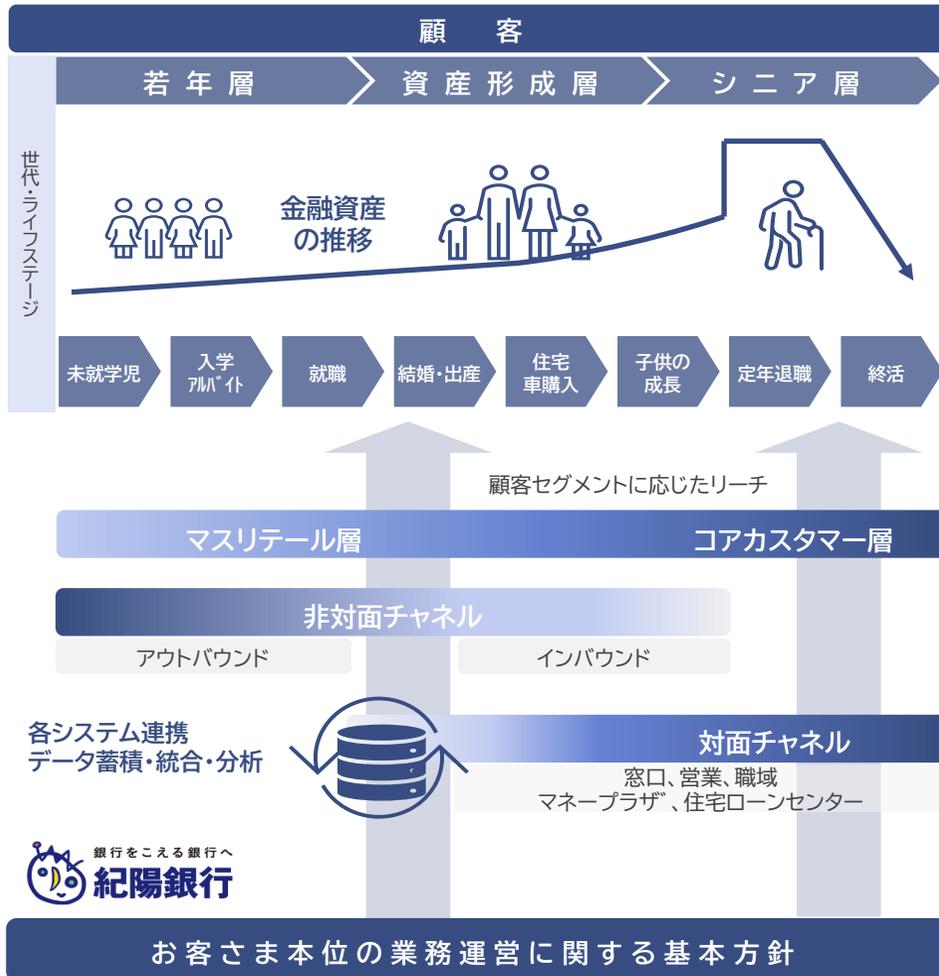
- 2023年4月
ストラクチャードファイナンス推進室 を東京ビル内に新設
- 2024年7月
リアルエステートファイナンス推進室 を大阪ビル・東京ビル内に新設

ストラクチャードファイナンス残高

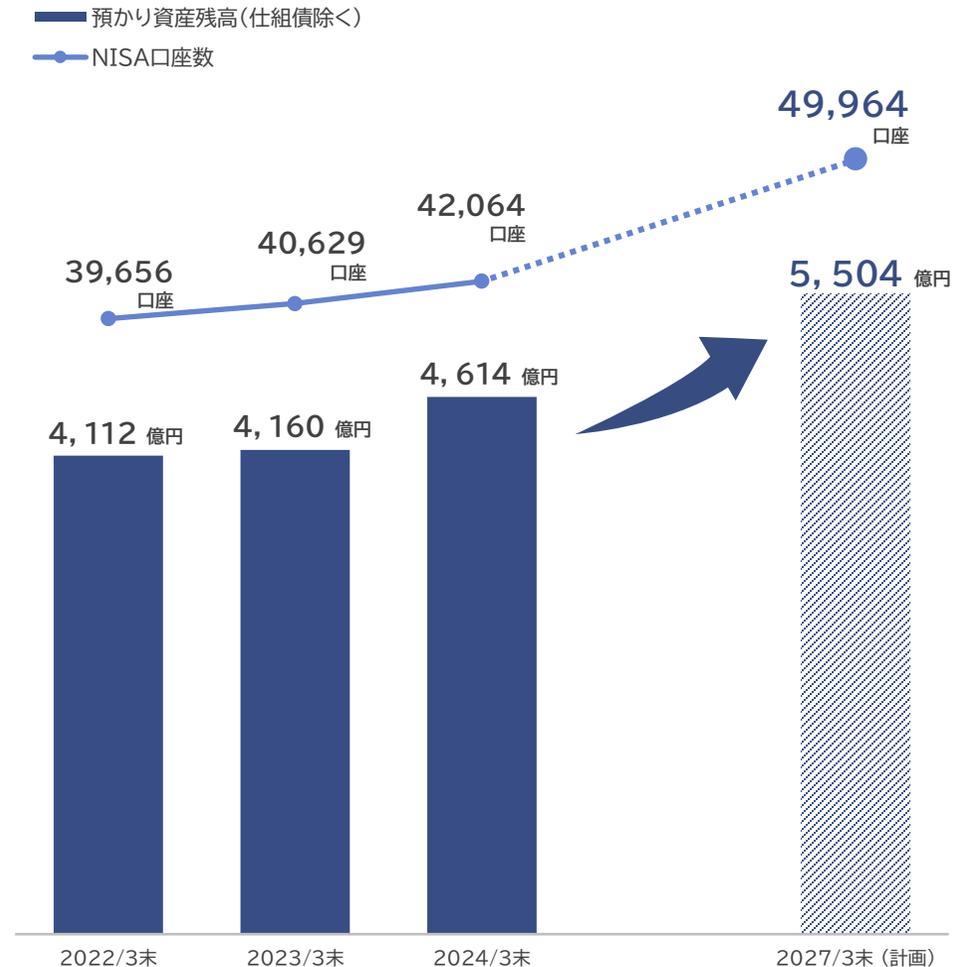


リテール分野での取り組み

資産形成に資する取り組み



預かり資産残高推移



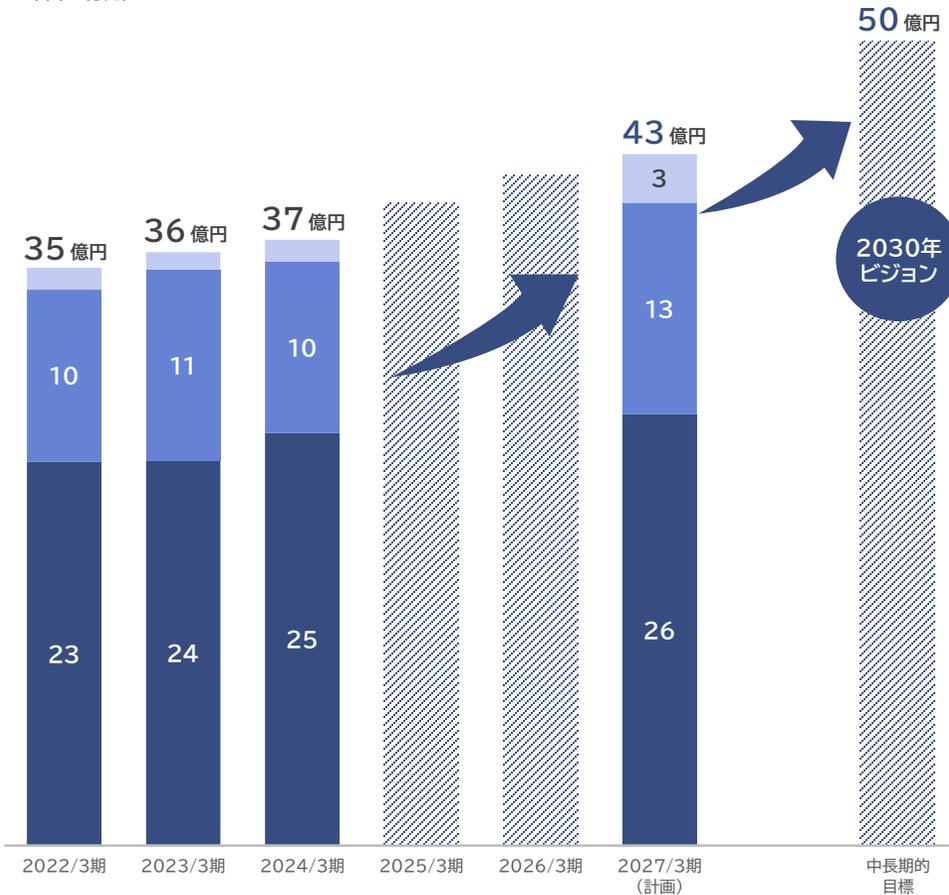
グループ戦略

紀陽情報システム

売上実績・計画

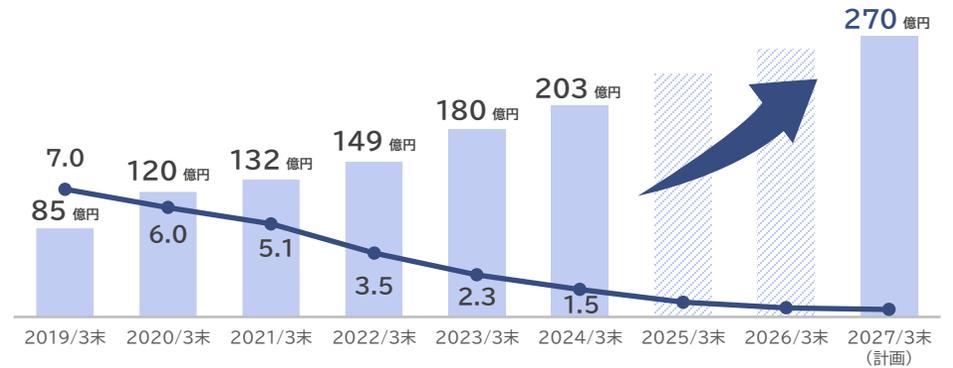
■ 公共部門 ■ 金融部門 ■ 民間部門

(単位:億円)



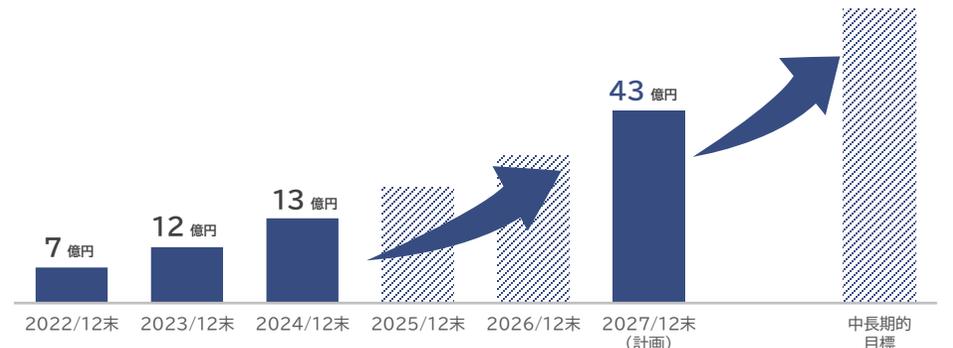
紀陽リース

■ リース債権残高 ● うち紀陽銀行向け(%)



紀陽キャピタルマネジメント

ファンド投資累計額



戦略的IRの実施

2023年度【通年】

2024年度【上期】

2024年度【下期】



- 株主総会
- 決算説明会(2回)
- 個別面談(19回)
- 会社説明会(5回)

- 株主総会
- 決算説明会(1回)
- 個別面談(17回)
- 会社説明会(5回)
- 個人投資家向けIR(1回)

- 決算説明会(1回)
- 個別面談(15回)
- 個人投資家向けIR(1回)



- PBR1倍への取り組み
- エリア戦略の明示
- 取締役会の実効性評価

- PBR1倍への取り組み
- 株主還元の充実



- 第7次中計を公表
- 「企業価値向上に向けた取り組み」を開示
- 総還元性向40%以上

- スキルマトリックス改定
- 取締役会実効性評価に外部評価機関を導入

- **株主還元方針を変更**
→ P32 記載

地域DXへの取り組み

デジタルストラテジー2.0

地域のDX推進

- 地元企業に対するITコンサルティングの拡充
- 自治体等へのDX支援
- 地元地域の創業・スタートアップ支援

銀行業の高度化

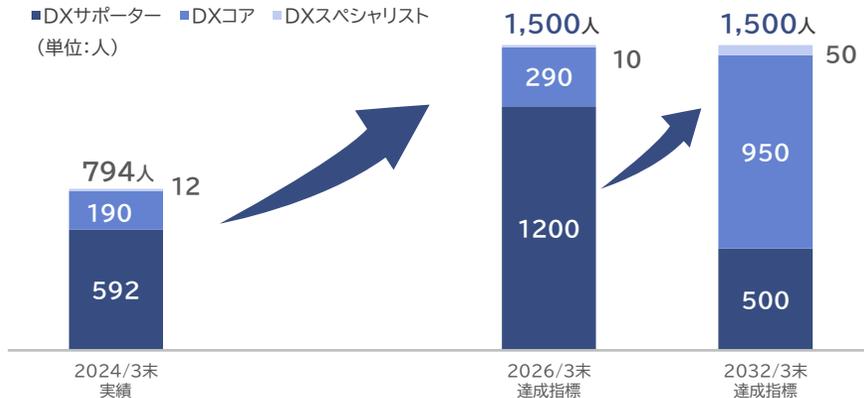
- 基幹系システムの高度化
- デジタルバンキング戦略の実現
- 行内DXおよび生産性向上

DX人材の育成・確保・展開

- DX人材の育成・確保
- DX人材の展開

DX人材育成

■DXサポーター ■DXコア ■DXスペシャリスト
(単位:人)



地公体との連携

和歌山県デジタル経営診断実施・分析業務

2021年度に和歌山県が実施した「デジタル経営診断」の環境構築業務を受託し、以降毎年度「デジタル経営診断実施・分析業務」を当行が受託。



堺市デジタル経営支援業務

2023年度より堺市の「デジタル経営支援業務」の運営を受託。紀陽情報システムとオンラインの診断ツール「堺DX診断」を構築したうえで、堺市内の事業者さまのDX診断を実施。



インキュベーション施設の開設

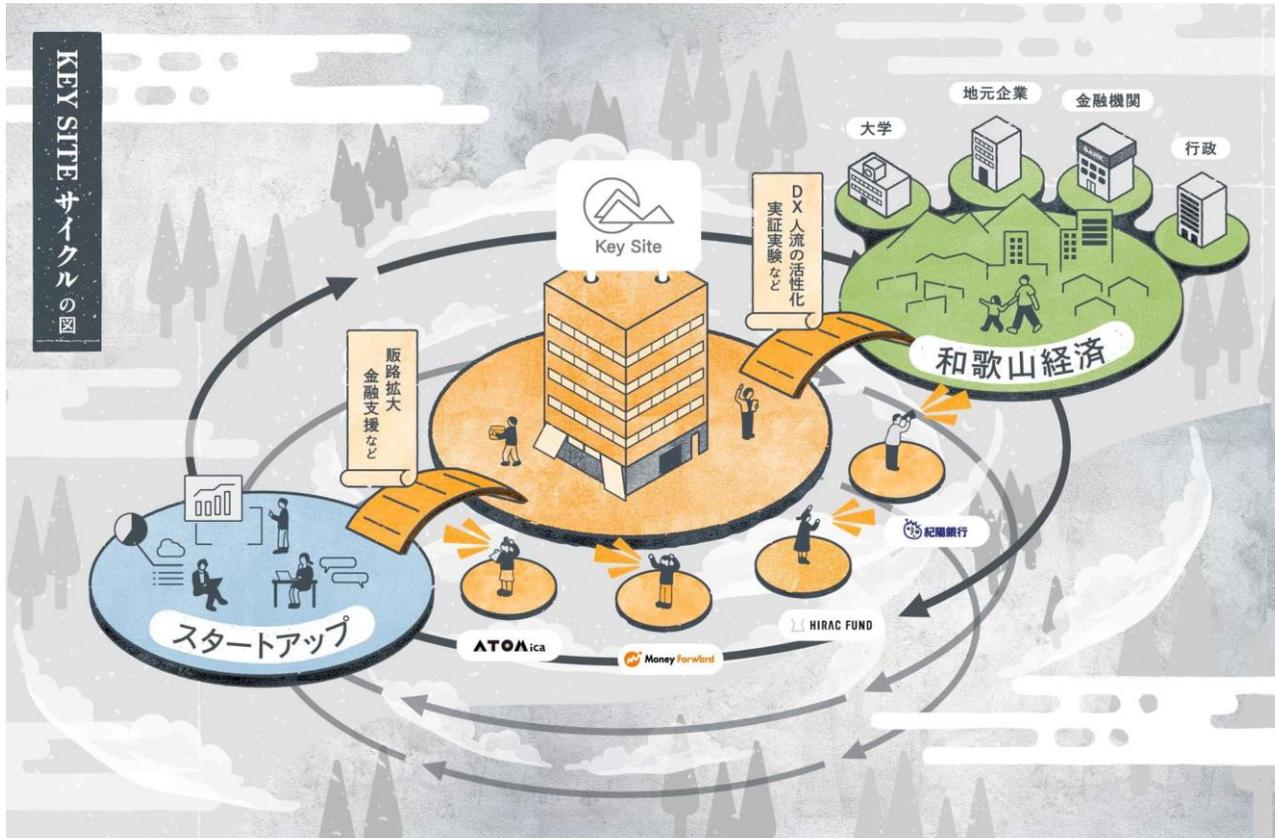
和歌山発の”Region Bridge”拠点設立

— 2025年3月27日オープン —

名称	Key Site(キーサイト)
開設目的	スタートアップ支援による地域経済の成長・発展
施設テーマ	“Region Bridge” (スタートアップと地域をつなぐ架け橋)
連携企業	マネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社 株式会社ATOMica SDFキャピタル株式会社 他
所在地	和歌山市黒田185-3(旧宮北ビル 5階建)
施設内容	スタートアップ支援、コミュニティ・コワーキング施設 レンタルオフィス、カフェ
URL	https://kiyo-keysite.com



インキュベーション施設の開設



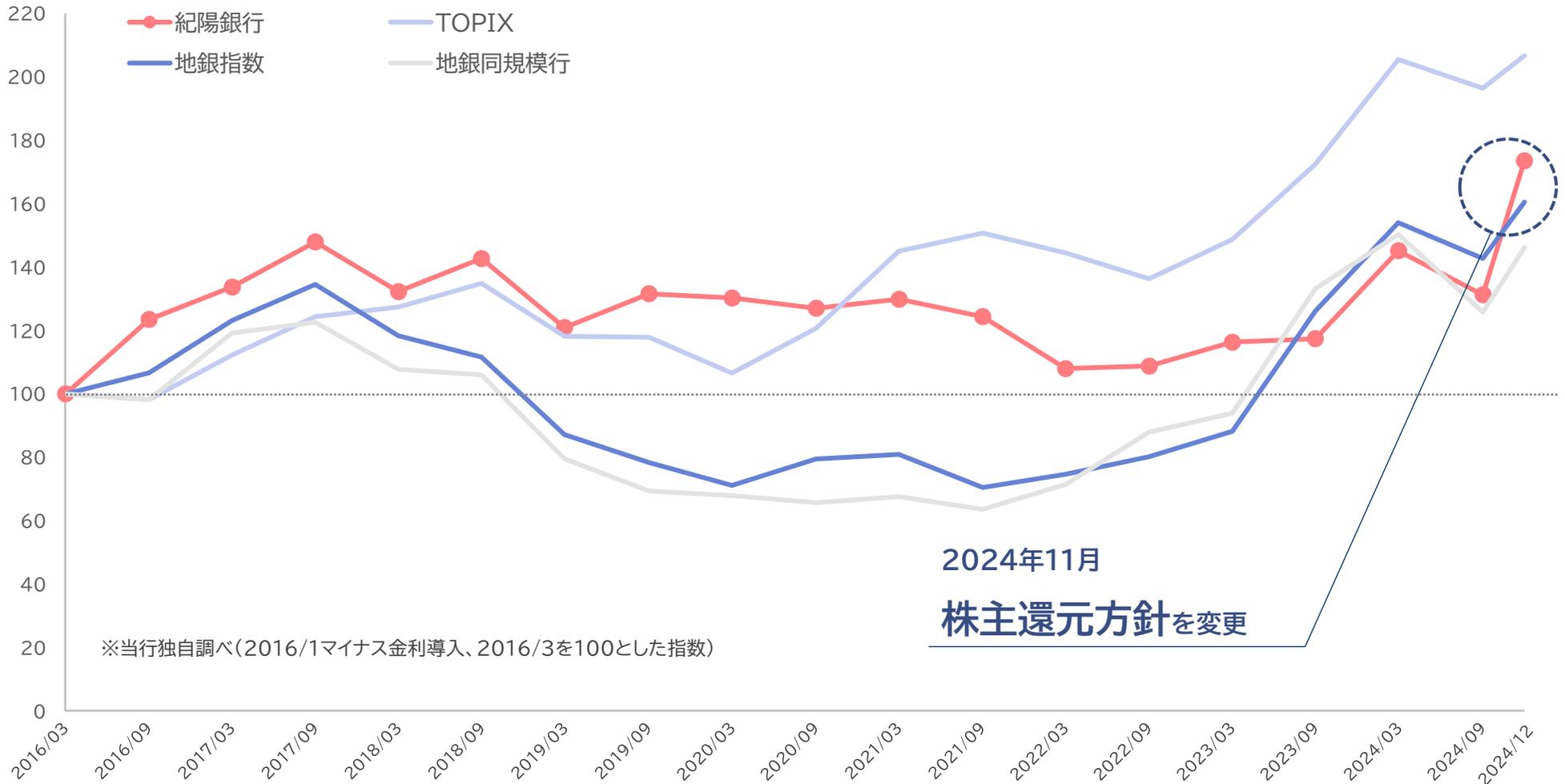
Key Site施設紹介

- | | |
|----|-------------------------------|
| 5階 | レンタルオフィス |
| 4階 | 紀陽銀行オフィス
紀陽キャピタルマネジメントオフィス |
| 3階 | コワーキングスペース |
| 2階 | イベントスペース
コワーキングスペース |
| 1階 | カフェスペース |

今後の取り組み

- 創業に向けた相談受付から成長支援までフルパッケージでのサポート
- CEOオーディションの開催等、スタートアップ支援に向けた各種イベントの開催
- スタートアップデットファンドの設立検討

株価推移



株主還元方針の変更

変更前

変更後(2024年11月)

総還元性向

40%以上

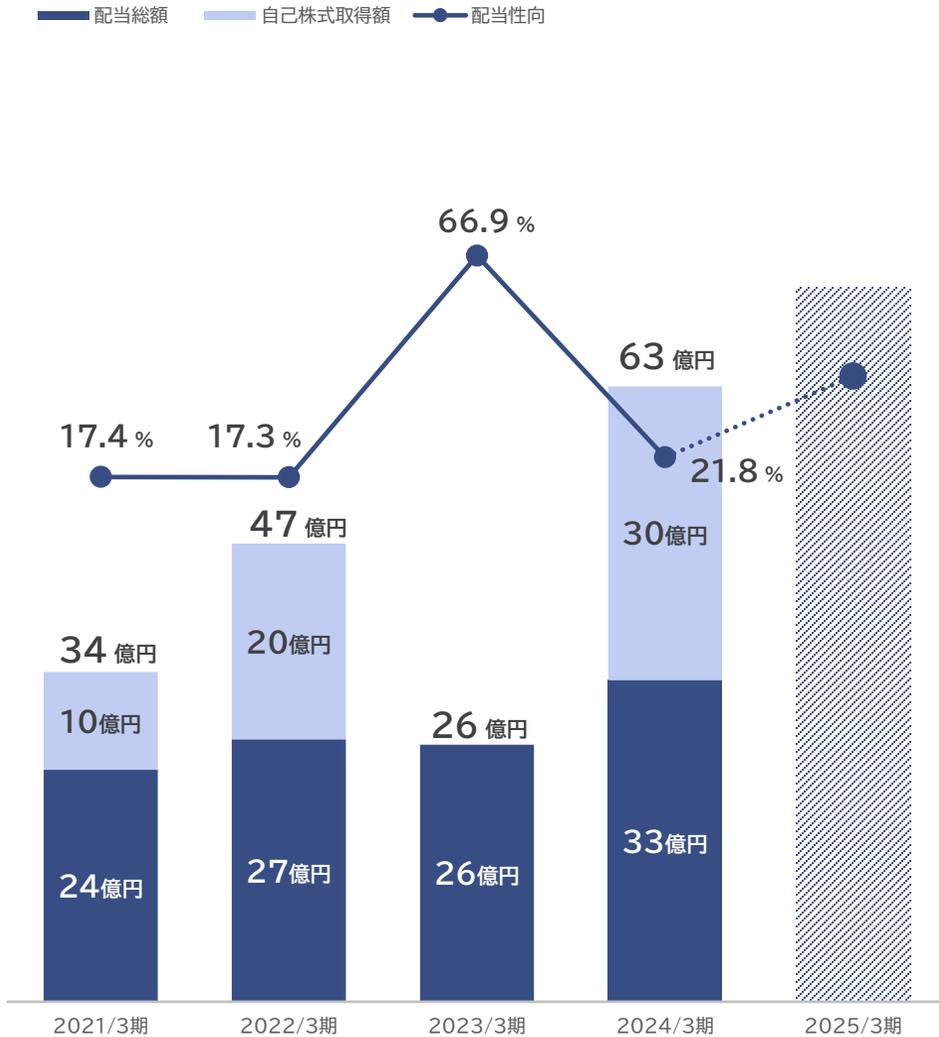


配当性向 **40** % を目安

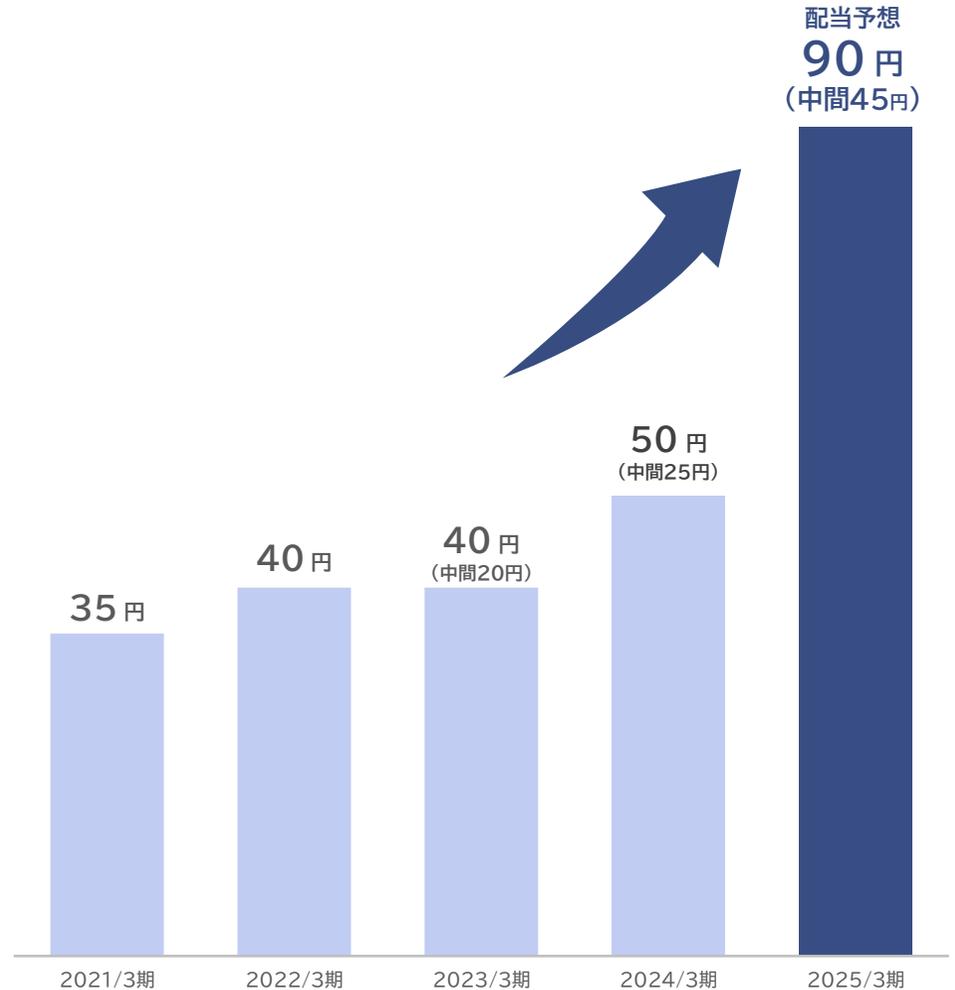
年間配当金予想を50円から **90** 円に修正

利益の成長とともに **累進的** な配当を行い、
自己株式取得は機動的に実施

株主還元実績



DPS (1株あたり配当金)





説明会の まとめ

- 和歌山と大阪の **2つのエリア** を地元とする地方銀行
- 収益性を示す **ROE** は地銀トップレベル

今後、政策金利の上昇で **資金利益の改善** が見込まれる

- 株主還元方針の見直しにより、年間配当金予想を
50円から **90** 円に大幅修正し、**累進的** 配当を表明

- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記述された事項の全部または一部は、予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料には将来の業績にかかる記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等に伴い異なる可能性があることにご留意ください。
- なお、本資料の全部または一部を当行の承諾なしに転写・複製し、または第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。



紀陽銀行公式キャラクター
キヨー坊や®

本件に関するお問い合わせ

株式会社紀陽銀行 経営企画部 広報・IR室

TEL 073-426-7133

E-mail koho@kiyobank.co.jp

HP <https://www.kiyobank.co.jp>